

公益社団法人化学工学会  
粒子・流体プロセス部会 2022 年度年会幹事会議事録

日時：2023 年 3 月 15 日(水)12:00~13:00

場所：化学工学会第 88 年会 H 会場

出席者：藤岡（議長）、太田, 仁志, 藤本, 岩崎, 伊奈, 坂倉, 長津, 松隈, 本間（敬称略）

委任：鈴木, 押谷, 三角, 春藤, 島田, 桑木, 古川, 安藤

欠席：寺坂（COVID-19 罹患による外出禁止措置のため）

オブザーバー：渡邊（事務局）

0. 議長の臨時交代

寺坂部会長が COVID-19 罹患による外出禁止のため、藤岡部会事務局が本幹事会の議長を部会長から委任された。

1. 前回幹事会議事録の確認（資料 1）

前回幹事会の議事録内容を確認した。

2. 本部理事会承認事項および部会長会議の報告（資料 2）

本部理事会での承認事項ならびに部会 CT・部会長合同会議の議事録が紹介された。

3. 2022 年度部会・分科会活動報告（資料 3）

2022 年度の部会・分科会の活動について報告がなされた。

活動報告書については 3 月 24 日に本部へ提出予定。

4. 2023 年度事業計画（資料 4）

2022 年度の事業計画について報告があった。

事業計画書は 2023 年 1 月 13 日に本部へ提出済み。

5. 2022 年度分科会配分（資料 5）

2022 年度分科会配分額について配分ルールの説明, ならびに振り込み完了報告がなされた。

6. 2022 年度決算（資料 6）

2022 年度の決算報告がなされた。

決算書類は 3 月 10 日までに事務局および各分科会より本部へ提出済み。

7. 2023 年度予算（資料 7）  
2023 年度の予算について報告があった。  
予算申請書は 11 月 14 日までに事務局および各分科会より本部へ提出済み。
8. 2022-2023 年度部会長および副部会長について（資料 8）  
2023 年度は 2022 年度から変更がない旨が確認された。
9. 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会（資料 9）  
伊奈企画幹事から 2023 年 1 月 27 日にオンライン開催された「若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」の実施報告がなされた。
10. 部会賞について（資料 10）  
仁志副部会長(賞担当)から 2022 年度各賞の受賞者の紹介があった。事前の配布資料の要修正箇所について指摘があった。  
同一の方からの複数応募について規定を見直す必要があるのではとのご意見があった。
11. 2022 年度部会セミナーについて  
松隈担当幹事より部会セミナーの紹介があった。
12. 承認事項（資料 11）
  - 1) 国際会議 MMPE の部会主催化について第 2 回臨時幹事会で承認済みである旨確認がなされた。
  - 2) 第 2 回臨時幹事会での承認に基づき、部会資産(非基金化資産)について、MMPE2025 の開催費用の一部ならびに部会ホームページ制作費の基金化手続きを行なった旨報告がなされた。
  - 3) 第 1 回定例幹事会で見直しが検討されていた粒子・流体プロセス部会分科会運営細則（第 8 条, 第 9 条）の改正案が承認された。
  - 4) 化学工学会関東支部との共催企画(「最近の化学工学講習会 72」)について本間先生より説明があり、共催とすることが承認された。按分については今後協議し、次回幹事会にて承認予定とされた。
13. 各分科会報告  
特になし。
14. その他  
特になし。

以上

備考：

本 2022（令和 4）年度部会幹事会の議事録での承認事項は、全て同日開催の部会総会にて承認されたことを付記しておきます。

令和5（2023）年3月15日（水）15:15～16:15

化学工学会第88年会 H会場

**公益社団法人化学工学会**  
**粒子・流体プロセス部会 2022年度年会総会議事**

議事：

1. 2022年度部会・分科会活動報告（資料1） 慶應大・藤岡
2. 2023年度事業計画（資料2） 慶應大・藤岡
3. 2022年度決算（資料3） 慶應大・渡邊
4. 2023年度予算（資料4） 慶應大・渡邊
5. 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会（資料5）  
ダイセル・伊奈
6. 部会賞について（資料6） 千葉工大・仁志
7. 承認事項（資料7） 慶應大・藤岡
8. その他

以上

(別紙 2 - 3)

## 粒子・流体プロセス部会 2022 年度活動報告書

2023 年 3 月 10 日

## 1. 国際関連事業

月日	行事名	主催 部会以外の場 合のみ記す	共催・協賛 団体	会場	参加者		
					国内	国外	合計
9/25- 28	4th International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering (MMPE)	気泡・液滴・ 微粒子分散 工学分科会( 日本側)		HYPERION Hotel Berlin/Germ any	40	70	110

## 2. シンポジウム・講演会などの行事

月日	行事名	主催 部会以外の場 合のみ記す	共催・協賛 団体	会場	参加者		
					産	学・官	合計
3/8	第 25 回九州・中国地区サ ロン	ミキシング 技術分科会	化学工学会 九州支部	オンライン	13	10	23
3/30	第 31 回関西・東海地区ミ キシング技術サロン	ミキシング 技術分科会	化学工学会 関西支部な ど	オンライン	30	16	46
8/15 8/29 9/6 10/28	粒子・流体プロセス技術 コース 2022	流動層分科 会	日本粉体工 業技術協会 環境エネル ギー・流動化 分科会など	東京工業高 等専門学校 ほか 3 か所	12	0	12
8/25- 26	令和 4 年度ミキシング技 術分科会夏期セミナー	ミキシング 技術分科会	化学工学会 関西支部等	神戸ポート ピアホテル +オンライン	37	15	52
9/13	熱物質流体工学セミナー 2022	熱物質流体 工学分科会		オンライン	7	30	37
9/15	第 25 回気液固分散工学 サロン	気泡・液滴・ 微粒子分散 工学分科会		信州大学長 野キャンパ ス	5	15	20
10/26	第 32 回関西・東海地区ミ キシング技術サロン	ミキシング 技術分科会	分離技術会 東海地区幹 事会など	オンライン	85	16	101
10/31 -11/1	粉体の機械的単位操作に 関する参加型講演会（通 算第 9 回）	粉体工学会 機械的単位 操作に関す る産学連携 研究会	粒子・流体プ ロセス部会、 粉体プロセ ス分科会、日 本粉体工業 技術協会	アシザワ・ ファインテ ック株式会 社	8	11	
12/13	第 31 回東日本地区ミキ シング技術サロン	ミキシング 技術分科会		オンライン	17	10	27

1/18	東北大学多元物質科学研究所イノベーション・エクステンジ「生産性に効く！最先端ナノ計測評価技術」	東北大学多元物質科学研究所、みやぎ高度電子機械産業振興協議会	東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター(SRIS)、東北大学産学連携先端材料研究開発センター(MaSC)、粉体工学会東北談話会、粒子・流体プロセス部会粉体プロセス分科会、資源・素材学会東北支部	東北大学片平さくらホール			119
1/23	第9回機能性粉体プロセス研究会	粉体工学会粉砕の高度利用研究会	粉体工学会東北談話会、粉体材料設計研究会、粒子・流体プロセス分科会粉体プロセス分科会	東北大学多元物質科学研究所			10
3/5	第26回気液固分散工学サロン	気泡・液滴・微粒子分散工学分科会		気泡・液滴・微粒子分散工学分科会			

### 3. 本部大会・支部行事関連行事

月日	行事名	主催 部会以外の場合のみ記す	共催・協賛 団体	会場	参加者		
					産	学・官	合計

### 4. 講習会などの啓発活動

月日	行事名	主催 部会以外の場合のみ記す	共催・協賛 団体	会場	参加者		
					産	学・官	合計

### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

月日	出版物名	出版社	発行部数

### 6. 受託事業の推進

月日	テーマ	委託元	期間	参加人数

				産	学

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

月日	発行物	発行数
3/23	粒子・流体プロセス部会ニュースレター第 26 号	Web よりダウンロード
9/30	Mixing Technology Now, No.27	160
10/20	粒子・流体プロセス部会ニュースレター第 27 号	Web よりダウンロード
11/28	気液固分散工学ニュースレター 27号発行	Web

8. 特記事項(部会幹事会、他)

以上

<備考>参加者の内訳（国内・国外、あるいは産・学）は、できるだけご記入下さい。

## (資料 2)

### 粒子流体プロセス部会 2023 年度(2023 年 3 月～2024 年 2 月)事業計画書

2023 年度部会事業計画書

- |                         |                    |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 国際関連事業               | 2. シンポジウム・講演会などの行事 |
| 3. 本部大会・支部行事関連行事        | 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動 |
| 5. 出版物・特集号などの化学工学出版への寄与 | 6. 受託事業の推進         |
| 7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行  | 8. 特記事項            |

2023 年 1 月 25 日

#### 1. 国際関連事業

- 熱物質流体工学分科会海外派遣助成

#### 2. シンポジウム・講演会などの行事

- 部会セミナー
- 粒子流体プロセス技術コース 2023(流動層分科会)
- 学生発表会 2023(流動層分科会)
- 気液固分散工学サロン(第 26 回, 第 27 回 )(気泡・液滴・微粒子分散工学分科会)
- 令和 5 年度ミキシング技術分科会夏期セミナー(ミキシング技術分科会)
- 第 32 回東日本地区ミキシング技術サロン(ミキシング技術分科会)
- 第 33 回関西東海地区ミキシング技術サロン(ミキシング技術分科会)
- 第 28 回九州・中国地区ミキシング技術サロン(ミキシング技術分科会)
- 第 3 回粉体プロセス研究会(3 支部合同大会の粉体に関するシンポジウムセッションと合同開催)(粉体プロセス分科会)

#### 3. 本部大会・支部行事関連行事

- 第 54 回秋季大会シンポジウム, 部会セッション

#### 4. 講習会・セミナーなどの啓発活動

- 第 11 回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会
- 熱物質流体工学セミナー2023 (熱物質流体工学分科会)

#### 5. 出版物・特集号などの化学工学会出版への寄与

- なし

#### 6. 受託事業の推進



- なし

7. 部会ニュース・メールマガジンなどの発行

- 部会ニュースレター(28, 29号)(部会)
- 気液固分散工学ニュースレター(28号, 29号)(気泡・液滴・微粒子分散工学分科会)
- ミキシング技術分科会会誌 Mixing Technology Now No. 28 の発行(ミキシング技術分科会)

8. 特記事項

- 部会賞の公募, 審査・授与および記念講演会の開催

以上

(資料 3-1)

下記の配分計算結果に基づいて、2022年9月20日に各分科会への振込を行った。

分科会分配金について		粒子・流体プロセス部会		2022/9/13			
<p>【分配ルール】 本部からの部会交付金等(A)および部会事務局が徴収する特別会員会費(B)の合計額から部会共通経費(C)を引いた残額から25%を差し引いた残額を分配する。</p> <p><b>分科会細則8条</b> 分科会は部会事務局より部会費(本部からの部会交付金および部会事務局が徴収する部会 会員の会費)の25%を差し引いた残額をさらに分科会員の数で按分した額を分科会分配金として支給される。(分科会運営細則第8条2)</p> <p><b>を次回規約改正する</b> →上記の配分方法はすでに昨年度以前も運用で変更されている。そこで実態に合うように見直すにあたって、今年度は運用で下記のようにしたい。</p> <p>① それぞれの種別で部会費(A:本部で控除された手取り部会交付金)から部会事務局費(C)を差し引いた残額を分科会会員数で按分した額を分科会分配金とする。会員が複数の分科会に参加を希望した場合は、参加する分科会に会費を按分する、ことになっている。分科会無所属の場合は、5分科会に1/5ずつ按分。</p> <p>② 特別会員からの会費徴収は各分科会で行い、分科会収入とする(B:特別会員から部会事務局への会費収入はゼロ) 特別会員が複数の分科会に参加を希望した場合は、主たる参加分科会に直接会費を納入。特別会員の分科会無所属は禁止とする。</p>							
収入		計		備考			
<b>本部からの配分額</b>		R04年度部会交付金	550,000	674,000			
当該年度の本部からの配分の内訳を示す。		第06年会利益配分	3,000		部会HPサーバ使用料、部会負担金を天引きされ入金		
		第52秋季大会利益配分	121,000				
<b>支出</b>		計		備考			
<b>本部天引き分</b>		部会HPサーバ使用料	30,000	41,500	本部が天引き		
前年度の部会の総資産増加分の10%が本部への事務負担金として徴収される		部会負担金	11,500		昨年度実績により本部が本年度天引き		
<b>部会費</b>		A	<b>本部で控除された手取り部会交付金</b>	<b>632,500</b>	7/29入金		
特別会員からの会費収入		B	賛助会員(法人会員)	0	25,000	0	全25社中
この収入は特別会員が「主たる所属する分科会」に納入される			部会特別会員4-A:化学工学会非会員の個人	0	2,000	0	全9名中
			部会特別会員4-B:化学工学会非会員の個人	0	3,000	0	全5名中
							0
<b>支出</b>		計		備考			
<b>部会事務局費</b>		C	部会賞経費	20,000	<b>340,000</b>	部会賞表彰経費	
			事務局アルバイト代	300,000		事務局給与	
			HP運用経費			2023年度より	
			部会長裁量経費	20,000		部会講演会/部会セミナー開催経費	
			※ HPアウトソーシング代	300,000		2023年度部会基金より支出予定	
<b>支出</b>		計		備考			
<b>分科会配分額(部会事務局費 控除)</b>		A-C		<b>292,500</b>			
<b>分科会分配金</b>		分科会所属情報は、化学工学会本部名簿を参照					
分科会名	会員 化学工学会に所属者のみ 数	昨年度追加配分 昨年度配分後の会費収入 配分額	配分額総計				
熱物質	121.5	56,426	0	56,426			
ミキシング	129.7	60,218	20,250	80,468			
気液固分散	126.5	58,748	9,375	68,123			
流動層	124.0	57,587	18,750	76,337			
粉体プロセス	128.2	59,521	9,375	68,896			
部会事務局費		340,000	19,250	359,250			
合計	630.0	632,500	77,000	709,500			
<b>部会負担金の分科会負担分</b>		分科会運営細則第9条において、個別事業の収益の10%をプールして、部会会計に繰り込むことになっている。分科会細則9条					
主として本部への事務負担金に充てることになっている。		を次回規約改正する					
正味財産増減計算書の当期経常収益、当期経常費用、当期経常増減額をみよ。							
部会	収入	支出	差額	部会負担金			
粒子・流体プロセス部会	1,911,096	1,796,357	114,739	11,473			
分科会	収入	支出	差額	部会負担金の分科会負担分	部会負担金の分科会負担分(累計)		
熱物質	76,695	26,248	50,447	5,044	0		
ミキシング	499,487	375,493	123,994	12,399	0		
気液固分散	85,730	80,984	4,746	474	0		
流動層	748,171	739,431	8,740	874	0		
粉体プロセス	106,311	143,000	-36,689	0	0		
合計	1,516,394	1,365,156	151,238	18,791	0		

# 正味財産増減計算書

(資料 3-2)

2022年 3月 1日から2023年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会  
 □粒子流体工学部会GP

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[ 80,000]	[ 367,000]	[△ 287,000]
特別会員受取会費	30,000	0	30,000
部会会員受取会費	( 50,000)	( 367,000)	(△ 317,000)
部会個人会員会費	0	17,000	△ 17,000
部会法人会員会費	50,000	350,000	△ 300,000
事業収益	[ 1,977,000]	[ 989,000]	[ 988,000]
学術育成事業	( 1,977,000)	( 989,000)	( 988,000)
学術集会、研究発表事業	1,127,000	554,000	573,000
人材育成講習会事業収益	850,000	435,000	415,000
雑収益	[ 301,057]	[ 96]	[ 300,961]
受取利息	44	96	△ 52
雑収益	( 301,013)	( 0)	( 301,013)
雑収入	301,013	0	301,013
経常収益計	2,358,057	1,356,096	1,001,961
(2) 経常費用			
事業費	[ 2,148,786]	[ 1,133,512]	[ 1,015,274]
臨時雇賃金	173,515	73,500	100,015
室料	813,027	0	813,027
会議費	12,290	20,040	△ 7,750
運営費	60,000	623,167	△ 563,167
旅費交通費	17,355	1,360	15,995
施設利用料	8,610	0	8,610
通信運搬費	16,976	140	16,836
消耗品費	183,593	2,652	180,941
印刷製本費	108,792	0	108,792
諸謝金	256,044	359,678	△ 103,634
支払負担金	0	30,000	△ 30,000
支払助成金	0	10,000	△ 10,000
委託費	480,000	0	480,000
雑費	18,584	12,975	5,609
管理費	[ 679,731]	[ 662,845]	[ 16,886]
給料手当	297,721	0	297,721
臨時雇賃金	0	394,276	△ 394,276
IT化費	100,000	0	100,000
会議費	( 32,785)	( 0)	( 32,785)
会議費アルコール無	32,785	0	32,785
通信運搬費	48,540	90,574	△ 42,034
消耗品費	9,957	13,720	△ 3,763
印刷製本費	167,200	137,500	29,700
賃借保守料	8,391	0	8,391
広報費	0	8,250	△ 8,250
雑費	15,137	18,525	△ 3,388
経常費用計	2,828,517	1,796,357	1,032,160
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 470,460	△ 440,261	△ 30,199
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 470,460	△ 440,261	△ 30,199
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	[ 632,500]	[ 555,000]	[ 77,500]
当期一般正味財産増減額	162,040	114,739	47,301
一般正味財産期首残高	13,868,344	13,753,605	114,739
一般正味財産期末残高	14,030,384	13,868,344	162,040
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	14,030,384	13,868,344	162,040

# 貸借対照表

2023年 2月28日現在

公益社団法人 化学工学会  
 □粒子流体プロセス部会GP

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,395,325	6,802,285	△ 2,406,960
流動資産合計	4,395,325	6,802,285	△ 2,406,960
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
部会事業積立資産	1,696,059	2,696,059	△ 1,000,000
粒子流体プロセス部会 国際交流基金	3,300,000	2,950,000	350,000
流動化・粒子プロセスシンポジウム大会基金	800,000	800,000	0
IWPI等交流助成基金	620,000	620,000	0
MMPE2025国際会議開催基金	2,919,000	0	2,919,000
粒子・流体プロセス部会HP作成基金	300,000	0	300,000
特定資産合計	9,635,059	7,066,059	2,569,000
固定資産合計	9,635,059	7,066,059	2,569,000
資産合計	14,030,384	13,868,344	162,040
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	14,030,384	13,868,344	162,040
一般正味財産合計	14,030,384	13,868,344	162,040
(うち特定資産への充当額)	( 6,416,059)	( 7,066,059)	(△ 650,000)
正味財産合計	14,030,384	13,868,344	162,040
負債及び正味財産合計	14,030,384	13,868,344	162,040

正味財産増減計算書および貸借対照表を監査し、適切と認めます。

部会監事

令和5年 3 月 22 日

桑木賢也



令和5年 3 月 27 日

吉川直樹



## 正味財産増減計算書内訳表

2022年 3月 1日から2023年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会

(単位:円)

科 目	合計	粒子・流体プロセス	熟物質流体工学	ミキシング技術	気泡・液滴・微粒子分散工学	流動層	粉体プロセス
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取会費	[ 80,000]	[ 25,000]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 25,000]	[ 30,000]
特別会員受取会費	30,000	0	0	0	0	0	30,000
部会員受取会費	( 50,000)	( 25,000)	( 0)	( 0)	( 0)	( 25,000)	( 0)
部会法人会員会費	50,000	25,000	0	0	0	25,000	0
事業収益	[ 1,977,000]	[ 0]	[ 0]	[ 1,127,000]	[ 0]	[ 850,000]	[ 0]
学術育成事業	( 1,977,000)	( 0)	( 0)	( 1,127,000)	( 0)	( 850,000)	( 0)
学術集会、研究発表事業	1,127,000	0	0	1,127,000	0	0	0
人材育成講習会事業収益	850,000	0	0	0	0	850,000	0
雑収益	[ 301,057]	[ 11]	[ 0]	[ 301,013]	[ 13]	[ 14]	[ 6]
受取利息	44	11	0	0	13	14	6
雑収益	( 301,013)	( 0)	( 0)	( 301,013)	( 0)	( 0)	( 0)
雑収入	301,013	0	0	301,013	0	0	0
経常収益計	2,358,057	25,011	0	1,428,013	13	875,014	30,006
(2) 経常費用							
事業費	[ 2,148,786]	[ 75,476]	[ 34,171]	[ 1,094,530]	[ 43,033]	[ 860,201]	[ 41,375]
臨時雇賃金	173,515	0	0	20,315	0	153,200	0
室料	813,027	0	0	813,027	0	0	0
会議費	12,290	0	0	0	0	12,290	0
運営費	60,000	0	0	0	20,000	0	40,000
旅費交通費	17,355	0	0	5,840	0	11,515	0
施設利用料	8,610	0	0	0	0	8,610	0
通信運搬費	16,976	3,330	0	2,156	0	11,490	0
消耗品費	183,593	0	0	1,157	0	182,436	0
印刷製本費	108,792	0	0	108,792	0	0	0
諸謝金	256,044	60,116	33,411	140,243	22,274	0	0
委託費	480,000	0	0	0	0	480,000	0
雑費	18,584	12,030	760	3,000	759	660	1,375
管理費	[ 679,731]	[ 322,748]	[ 1,210]	[ 352,099]	[ 2,024]	[ 550]	[ 1,100]
給料手当	297,721	297,721	0	0	0	0	0
IT化費	100,000	0	0	100,000	0	0	0
会議費	( 32,785)	( 0)	( 0)	( 32,785)	( 0)	( 0)	( 0)
会議費700-は無	32,785	0	0	32,785	0	0	0
通信運搬費	48,540	2,740	0	45,800	0	0	0
消耗品費	9,957	9,056	0	901	0	0	0
印刷製本費	167,200	0	0	167,200	0	0	0
賃借保守料	8,391	8,391	0	0	0	0	0
雑費	15,137	4,840	1,210	5,413	2,024	550	1,100
経常費用計	2,828,517	398,224	35,381	1,446,629	45,057	860,751	42,475
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 470,460	△ 373,213	△ 35,381	△ 18,616	△ 45,044	14,263	△ 12,469
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 470,460	△ 373,213	△ 35,381	△ 18,616	△ 45,044	14,263	△ 12,469
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 470,460	△ 373,213	△ 35,381	△ 18,616	△ 45,044	14,263	△ 12,469
他会計振替額	[ 632,500]	[ 282,250]	[ 56,426]	[ 80,468]	[ 68,123]	[ 76,337]	[ 68,896]
当期一般正味財産増減額	162,040	△ 90,963	21,045	61,852	23,079	90,600	56,427
一般正味財産期首残高	13,868,344	3,559,121	1,338,764	4,245,497	1,474,717	2,560,748	689,497
一般正味財産期末残高	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部							
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924

貸借対照表内訳表

2023年 2月28日現在

公益社団法人 化学工学会

(単位：円)

科 目	合計	粒子・流体プロセス	熟物質流体工学	ミキシング技術	気泡・液滴・微粒子分散工学	流動層	粉体プロセス
<b>I 資産の部</b>							
1. 流動資産							
現金預金	4,395,325	249,158	739,809	1,007,349	497,796	1,155,289	745,924
現金（流動層分科会）	6	0	0	0	0	6	0
普通預金（粒子・流体プロセス分科会）	249,158	249,158	0	0	0	0	0
普通預金（熟物質流体工学分科会）	739,809	0	739,809	0	0	0	0
普通預金（ミキシング技術分科会）	1,007,349	0	0	1,007,349	0	0	0
普通預金（気泡・液滴・微粒子分散工学分科会）	497,796	0	0	0	497,796	0	0
普通預金（流動層分科会）	1,155,283	0	0	0	0	1,155,283	0
普通預金（粉体プロセス分科会）	745,924	0	0	0	0	0	745,924
流動資産合計	4,395,325	249,158	739,809	1,007,349	497,796	1,155,289	745,924
2. 固定資産							
(2) 特定資産							
部会事業積立資産	1,696,059	0	0	0	1,000,000	696,059	0
粒子流体プロセス部会 国際交流基金	3,300,000	0	0	3,300,000	0	0	0
流動化・粒子プロセスシンポジウム大会基金	800,000	0	0	0	0	800,000	0
IWPI等交流助成基金	620,000	0	620,000	0	0	0	0
MMPE2025国際会議開催基金	2,919,000	2,919,000	0	0	0	0	0
粒子・流体プロセス部会HP作成基金	300,000	300,000	0	0	0	0	0
特定資産合計	9,635,059	3,219,000	620,000	3,300,000	1,000,000	1,496,059	0
固定資産合計	9,635,059	3,219,000	620,000	3,300,000	1,000,000	1,496,059	0
資産合計	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924
<b>III 正味財産の部</b>							
1. 基金							
基金	0	0	0	0	0	0	0
2. 指定正味財産							
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産							
(1) 代替基金	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他一般正味財産	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924
一般正味財産合計	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924
（うち特定資産への充当額）	( 6,416,059)	( 0)	( 620,000)	( 3,300,000)	( 1,000,000)	( 1,496,059)	( 0)
正味財産合計	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924
負債及び正味財産合計	14,030,384	3,468,158	1,359,809	4,307,349	1,497,796	2,651,348	745,924

# 収支予算書

(資料 4-1)

2023年 3月 1日から2024年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会  
 □粒子流体工学部会GP

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	[ 55,000]	[ 494,000]	[△ 439,000]
部会会員受取会費	( 50,000)	( 494,000)	(△ 444,000)
部会個人会員会費	0	22,000	△ 22,000
部会法人会員会費	50,000	472,000	△ 422,000
分科会年会費	( 5,000)	( 0)	( 5,000)
分科会個人会費	5,000	0	5,000
事業収益	[ 1,750,000]	[ 2,700,000]	[△ 950,000]
学術育成事業	( 1,750,000)	( 2,700,000)	(△ 950,000)
学術集会、研究発表事業	1,300,000	2,200,000	△ 900,000
人材育成講習会事業収益	450,000	500,000	△ 50,000
雑収益	[ 220]	[ 300]	[△ 80]
受取利息	20	100	△ 80
雑収益	( 200)	( 200)	( 0)
雑収入	200	200	0
経常収益計	1,805,220	3,194,300	△ 1,389,080
(2) 経常費用			
事業費	[ 2,666,274]	[ 3,507,274]	[△ 841,000]
臨時雇賃金	400,000	300,000	100,000
IT化費	200,000	0	200,000
会議費	35,000	15,000	20,000
運営費	0	2,270,000	△ 2,270,000
旅費交通費	750,000	410,000	340,000
施設利用料	500,000	300,000	200,000
通信運搬費	35,000	35,000	0
消耗什器備品費	300,000	0	300,000
消耗品費	40,000	40,000	0
印刷製本費	50,000	50,000	0
諸謝金	157,274	77,274	80,000
支払助成金	134,000	0	134,000
表彰費	40,000	0	40,000
雑費	25,000	10,000	15,000
管理費	[ 684,349]	[ 921,546]	[△ 237,197]
給料手当	300,000	0	300,000
臨時雇賃金	0	200,000	△ 200,000
会議費	( 57,000)	( 260,000)	(△ 203,000)
会議費	57,000	260,000	△ 203,000
施設利用料	0	6,000	△ 6,000
通信運搬費	15,000	54,000	△ 39,000
消耗品費	20,000	54,000	△ 34,000
印刷製本費	200,000	230,000	△ 30,000
広報費	50,000	50,000	0
雑費	42,349	67,546	△ 25,197
経常費用計	3,350,623	4,428,820	△ 1,078,197
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,545,403	△ 1,234,520	△ 310,883
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,545,403	△ 1,234,520	△ 310,883
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	[ 550,000]	[ 550,000]	[ 0]
当期一般正味財産増減額	△ 995,403	△ 684,520	△ 310,883
一般正味財産期首残高	1,359,809	0	1,359,809
一般正味財産期末残高	364,406	△ 684,520	1,048,926
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	364,406	△ 684,520	1,048,926

## (資料 4-2)

## 収支予算書内訳表

2023年 3月 1日から2024年 2月28日まで

公益社団法人 化学工学会

(単位:円)

科 目	合計	粒子・流体プロセス	熟物質流体工学	ミキシング技術	気泡・液滴・微粒子分散工学	流動層	粉体プロセス
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取会費	[ 55,000]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 55,000]
部会会員受取会費	( 50,000)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 50,000)
部会法人会員会費	50,000	0	0	0	0	0	50,000
分科会年会費	( 5,000)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 5,000)
分科会個人会費	5,000	0	0	0	0	0	5,000
事業収益	[ 1,750,000]	[ 0]	[ 0]	[ 1,100,000]	[ 200,000]	[ 450,000]	[ 0]
学術育成事業	( 1,750,000)	( 0)	( 0)	( 1,100,000)	( 200,000)	( 450,000)	( 0)
学術集会、研究発表事業	1,300,000	0	0	1,100,000	200,000	0	0
人材育成講習会事業収益	450,000	0	0	0	0	450,000	0
雑収益	[ 220]	[ 200]	[ 0]	[ 0]	[ 0]	[ 20]	[ 0]
受取利息	20	0	0	0	0	20	0
雑収益	( 200)	( 200)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
雑収入	200	200	0	0	0	0	0
経常収益計	1,805,220	200	0	1,100,000	200,000	450,020	55,000
(2) 経常費用							
事業費	[ 2,666,274]	[ 80,000]	[ 214,000]	[ 1,500,000]	[ 242,274]	[ 500,000]	[ 130,000]
臨時雇賃金	400,000	20,000	0	300,000	0	80,000	0
IT化費	200,000	0	0	200,000	0	0	0
会議費	35,000	0	0	0	0	20,000	15,000
旅費交通費	750,000	0	50,000	600,000	0	40,000	60,000
施設利用料	500,000	0	0	300,000	200,000	0	0
通信運搬費	35,000	0	0	5,000	20,000	10,000	0
消耗什器備品費	300,000	0	0	0	0	300,000	0
消耗品費	40,000	0	0	40,000	0	0	0
印刷製本費	50,000	0	0	50,000	0	0	0
諸謝金	157,274	20,000	35,000	0	22,274	50,000	30,000
支払助成金	134,000	10,000	124,000	0	0	0	0
表彰費	40,000	20,000	0	0	0	0	20,000
雑費	25,000	10,000	5,000	5,000	0	0	5,000
管理費	[ 684,349]	[ 330,000]	[ 0]	[ 300,000]	[ 25,849]	[ 28,500]	[ 0]
給料手当	300,000	300,000	0	0	0	0	0
会議費	( 57,000)	( 0)	( 0)	( 45,000)	( 0)	( 12,000)	( 0)
会議費	57,000	0	0	45,000	0	12,000	0
通信運搬費	15,000	10,000	0	0	0	5,000	0
消耗品費	20,000	10,000	0	0	0	10,000	0
印刷製本費	200,000	0	0	200,000	0	0	0
広報費	50,000	0	0	50,000	0	0	0
雑費	42,349	10,000	0	5,000	25,849	1,500	0
経常費用計	3,350,623	410,000	214,000	1,800,000	268,123	528,500	130,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,545,403	△ 409,800	△ 214,000	△ 700,000	△ 68,123	△ 78,480	△ 75,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,545,403	△ 409,800	△ 214,000	△ 700,000	△ 68,123	△ 78,480	△ 75,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,545,403	△ 409,800	△ 214,000	△ 700,000	△ 68,123	△ 78,480	△ 75,000
他会計振替額	[ 550,000]	[ 241,877]	[ 60,000]	[ 100,000]	[ 68,123]	[ 80,000]	[ 0]
当期一般正味財産増減額	△ 995,403	△ 167,923	△ 154,000	△ 600,000	0	1,520	△ 75,000
一般正味財産期首残高	1,359,809	0	1,359,809	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	364,406	△ 167,923	1,205,809	△ 600,000	0	1,520	△ 75,000
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 基金増減の部							
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0	0
IV 正味財産期末残高	364,406	△ 167,923	1,205,809	△ 600,000	0	1,520	△ 75,000



## (資料 5)

### 第10回「若手研究者・技術者を対象とした見学講演会および交流会」

化学工学会粒子・流体プロセス部会

共催：化学工学会関西支部

本交流会は、若手研究者および技術者の育成を図るために、企業で活躍中の若手・女性技術者と直接交流することによって、男女を問わず卒業後のキャリアパスに対するイメージアップを図ることを目的としています。また、企業の若手・女性研究者相互の対話を通じて本分野の研究・開発の活性化と育成を支援する企画です。

今回は、オンラインでの見学講演会を実施します。石油製品、石油化学品メーカーである出光興産株式会社、機能材料、樹脂、バイオ等などの総合化学メーカーである住友化学株式会社、洗剤や化粧品などの化学品メーカーであるライオン株式会社の世界トップレベルの「モノづくり」をオンラインで見学いただけます。多くの若手／女性技術者の方のご参加をお待ちしております。

#### プログラム

対象：若手 PD、博士課程学生、修士、学部学生、企業に入社数年の若手研究者および技術者

開催日時：2023年1月27日(金)13:00～17:20

開催方法：Teamsによるオンライン【一切の録音・録画・撮影を禁じます。】

参加費：講演会 無料

#### スケジュール

12:30 Teams への入室開始

1. 開演の挨拶 13:00～13:10

粒子流体プロセス部会 会長

慶応大学 理工学部 寺坂 宏一教授

2. 基調講演 13:10～13:55

「移動相流速の影響を考慮したタンパク質医薬品の吸着分離プロセス」

山口大学 工学部 吉本 則子 氏

3. オンライン工場見学&講演会 14:05～16:30

14:05～14:50

「使用済プラスチックの溶解プロセス開発」

出光興産株式会社 生産技術センター基盤技術室 森 大輔 氏

14:55～15:40

「歯磨製造プロセス開発におけるデジタル技術活用」

ライオン株式会社 プロセス技術研究所 小島 和晃 氏

15:45～16:30

「住友化学のサステナビリティ～with the Power of Chemistry～」

住友化学株式会社 生産安全基盤センター 佐藤 真子 氏、村松 宏起 氏

4. 講演者別フリーディスカッション 16:40～17:10

Teams ブレイクアウトルームを設定致しますので、お好きなセッションへ自由にご参加ください。

5. 閉演の挨拶 17:10～17:20

粒子流体プロセス部会 副部会長 徳島大学 社会産業理工学研究部 太田 光浩教授

定員:100 名程度 (\*Teams の仕様要確認)

尚、見学先と同業の方のご参加はご遠慮いただきたく、お願い申し上げます。

参加申込:1 月 13 日(金)までに、お名前、勤務先、所属部署、連絡先(所在地、Tel、Fax、E-mail)を、下記へ E-mail でお送りください。

参加される方は、必ず、各々申込いただけますようお願いいたします。Teams への接続情報は開催日の 1 週間ほど前にご登録のメールアドレス宛に送信します

公益社団法人 化学工学会

若手・女性育成プロジェクト 事務局

伊奈 智秀(株式会社ダイセル)TEL:090-7123-1594

E-mail: [tm\\_ina@jp.daicel.com](mailto:tm_ina@jp.daicel.com)

島田直樹(住友化学)TEL:080-2686-6618

E-mail: [shimadan@sc.sumitomo-chem.co.jp](mailto:shimadan@sc.sumitomo-chem.co.jp)

坂倉圭(出光興産(株))TEL:070-4940-6264

E-mail: [kei.sakakura.1200@idemitsu.com](mailto:kei.sakakura.1200@idemitsu.com)

以上

以下、アンケート結果

参加者	36			
回答	19			
Q 1. ご自身について教えてください。				
年齢層:①10代, ②20代, ③30代, ④40代, ⑤50代~	①	②	③	④
	3	13	3	
年齢層:①10代, ②20代, ③30代, ④40代, ⑤50代~	①	②	③	④
		14	3	2
Q 2. 今回の講演会を知ったきっかけはなんでしょうか。				
①学会HP・学会誌 ②学会電子メール ③知人・上司等の紹介 ④その他	①	②	③	④
		2	17	
Q 3. 今回講演会は、総合的にどのくらい満足していますか。				
①非常に良かった ②良かった ③普通 ④あまり良くなかった ⑤良くなかった	①	②	③	④
	10	9		
Q 4. よろしければ、上記ご回答の理由をお聞かせください。				
今回の講演において、化学工学を会社の中でどの様に扱い、どのような役割を持つのかを理解する事が出来た事が個人的には大きな収穫だったと感じています。				
現在どのような問題があるかを講演会を通して知ることができ、その問題に対する解決プロセスを知ることができた為				
ディスカッションや懇親会等でも少し踏み込んで話が出来れば尚良かったと感じた				
大学や他社の研究開発や考えについて具体的に知ることが出来、勉強になった。				
他企業の取り組みを知る良い機会だった。				
他社様の工場を見学できる機会はあまりなく、非常に勉強になりました。				
大学・企業とまた異なる観点からの講演を聞くことができ、大変貴重な講演会であった為				
他社様の取り組み状況や世間の動向（会社の方向性など）が参考になった				
各社が何を目標しているか、という視点から入っているのは良いと感じた				
他社のシミュレーション活用事例を多く知ることができ、また、今後の課題について参考になる部分があったため				
一昨年、他業種より化学の会社（ダイセル）に転職しました。コロナ禍で情報獲得の機会が少ない中、バーチャル工場見学、及び他社様の活動を紹介頂き、大変有益でした				
他社さんの研究について理解を深められる良い機会だった。小部屋に分かれるシステムも少人数でディスカッションできて良かった。				
少数での議論ができる点で、より理解が深まった				
Q 5. 今回リモート開催でしたが、今後の開催形式についてのご意見をお聞かせください。				
①リモートが望ましい ②対面が望ましい ③内容で選択すべき	①	②	③	④
	7	1	11	
Q 6. 本講演会で取り上げてほしいテーマがあればお書きください。				
混練・攪拌・分散技術に関するプロセスの最適化				
流体力学など、ある特定の分野についての講演会という形にする事で、その分野の学習と会社の中でのその分野の重要性がより理解できたり。				
専門外の方にも理解の場に行うことができると感じました。				
樹脂成形加工に関する研究				
他社の機械学習の取り組みを知りたいと思った				
カーボンニュートラル達成に向けた省エネ技術の開発状況				
高分子関連製品のプロセス改善事例など				
「技術が市場にもたらす影響」のように、自身の働きが市場にどのような価値を提供するかを具体例があると情熱や興味がわくのではと思いました				
カーボンフリーに向けた各社の中期的なビジョンとその開発状況				
機械学習、AI関連技術の活用と具体的な成果				
Q 7. その他、ご意見などがあればご自由にお書きください。				
リモートだったので参加しやすく分かりやすかったです。				
周りの方々は実務者が多く、質問に委縮してしまいましたが、丁寧にご教授頂き非常に勉強になりました。				
また、このような機会があれば参加したいと考えています。この度は貴重なご機会を頂き、誠にありがとうございました。				
技術のキャッチアップができ、非常に勉強になりました。開催ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。				
初めての参加でしたが、おもしろいと思える内容もありました。				
交流の先に何があるのか、そのイメージは一枚程度の説明があるとよいと思いました				
講演のみであれば参加しやすい視点からリモートが望ましいが、工場見学は実際に見学したい				
業界初心者の私でも理解しやすい内容で助かりました。異業界からの転職者も増えていると思いますので、若手の他に異業界からの転入者も対象として頂ければ、と思います。				

## (資料 6)

### 粒子・流体プロセス部会 2022 年度部会賞 受賞者

#### 1. 技術賞 (技術賞担当 大阪公立大学 岩崎智宏)

##### 【受賞技術】

高精度湿式分級装置“アイクラシファイア i classifier”の開発と製品化

##### 【受賞者】

佐藤 誠(佐竹マルチミクス(株))、院去 貢(ケミマ・ラボ)、  
星野 徹(佐竹マルチミクス(株))、館下 遼(佐竹マルチミクス(株))、水口 拓歩(佐竹マルチミクス(株))

#### 2. シンポジウム賞 (シンポジウム賞担当 福岡大学 鈴木一己)

##### 【プレゼンテーション賞】9名

SY-52:熱物質流体 12名 ⇒ 最大2名

①DB102 電荷を持つ界面活性剤溶液を上昇する気泡への粒子付着

(京大院工) ○(学)仲野真治・(正)谷口貴志・Wibisono Sulistyو・馬場啓輔

②DB121 液物性が間隙幅の狭い連続式テイラーケット流反応装置内の気液スラグ流に及ぼす影響

(神戸大院工) ○(学)清水啓吾・(Tipton)(法)加藤海里・(法)小林知之・(神戸大院工)(正)菰田悦之・(正)大村直人

SY-53:粉体プロセス 8名 ⇒ 1名

①DD123 噴霧乾燥法におけるバインダー含有スラリー液滴の乾燥過程の評価

(岡山大院自) ○(学)山下大智・(学)青山祐太郎・(正)中曾浩一・(正)三野泰志・(正)後藤邦彰

SY-54:ミキシング 16名 ⇒ 最大3名

①AC319 温度変化を利用した公転自転式攪拌装置の代表せん断速度の算出

(神戸大院工) ○(学)宇都宮孟・(正)菰田悦之・(正)大村直人・(写真化学)高岡文彦・中村友紀

②AC323 トモグラフィックステレオPIV による羽根旋回領域における速度3成分3次元同時測定

(横国大理工) ○(学)山本菜々穂・(横国大工)(正)三角隆太

③AC317 動力数を指標とした塩凝固プロセスにおける緩凝集体の作製

(神戸大院工) ○(学)技基)岩本陸杜・(正)菰田悦之・(正)大村直人

SY-55:気泡・液滴・微粒子 14名 ⇒ 最大2名

①AB207 バンク構造を有する基板上成膜における薄膜形状と物性値の関連性

(九大院工) ○(学)成重桃花・(正)弘中秀至・(正)深井潤

②AB303 逆コロイド結晶統合型液滴生成装置を利用するバイオポリマー微粒子の調製

(千葉大院工) ○(学)増山将太・(学)逸見るな・佐藤丈流・(正)山田真澄・(正)関実

ST-29:流動層(部会横断) 9名 ⇒ 1名

①DA308 減圧過熱水蒸気流動層内に挿入した食品原料の乾燥特性に及ぼす前処理の影響

(静大院工) ○(学)橋本裕太・(正)立元雄治

【奨励賞】 該当者なし

3. フロンティア賞 (フロンティア賞担当 室蘭工業大学 藤本敏行)

応募件数: 5 件

選考委員会で審査した結果、委員長案を寺坂部会長に報告し、幹事会で承認された。

論文題目: “Reversal of effects from gel production in a reacting flow dependent on gel strength”

掲載誌: Physical Review Fluids, 7, 023201 (2022)

著者: Sae Hirano (平野紗愛, 東京農工大学, 卒業生), Yuichiro Nagatsu (長津雄一郎, 東京農工大学, 教授), Ryuta X. Suzuki (鈴木龍汰, 東京農工大学, 特任助教 / JST, さきがけ研究者)

4. 動画賞 (動画賞担当 東京農工大学 長津雄一郎)

応募件数: 3部門中、研究作品(3件)と技術作品(1件)

選考委員会で審査した結果、委員長案を寺坂部会長に報告し、幹事会で承認された。

【研究作品】

講演番号: AC303

応募者: 安井詩織(名工大)

著者: (名工大) ○(学)安井 詩織・(学)原口 蘭・(名工大院工) (正)加藤 禎人・(正)古川 陽輝・(旭製作所) 池田 靖之・中西 聡和

演題: 「試験管用 HB 型攪拌子の開発」

【技術作品】

講演番号: AC308

応募者: 高橋理輝(名工大)

著者: (日本ソセー工業) 朝山 真輔・森川 議博・(名工大院工) ○(学)高橋 理輝・(正)加藤 禎人・(正)古川 陽輝

演題: 「変形・合体を伴う AM 翼の混合機構の解明」

【教育作品】

応募無し

以上

## (資料 7-1)

### <承認事項>

本部会規約第 1 2 条 2) 事業計画、予算の承認、4) 規約の改正および細則の制定と改正に従い、総会出席者の過半数の賛成をもって総会での議決を有効とする。

下記 3 項目の本幹事会および総会での承認をお願いいたします。

#### 1. MMPE2025 の部会の主催化（気液固分科会代表・松隈）

これまでに気液固分科会主催で 4 回の実績のある MMPE( International Symposium on Multiscale Multiphase Process Engineering)が 2025 年に松江で開催される。これまでの実績から気液固分科会のみならず他の分科会にもまたがる内容であることから、第 5 回 MMPE は本部会での主催（世話役は気液固分科会）とすることが第 2 回臨時幹事会で承認された。

#### 2. 部会資産（非基金化資産）の基金化について（部会長・寺坂）

2023 年度より、部会非基金化資産（分科会非基金化資産含め、現状 317 万円※）の大部分が本部に移管されて本部会では使用できなくなり、2023 年度以降は部会による新規基金化も禁止されることが 2022 年 10 月 21 日の化学工学会理事会で承認された。本部会では 2022 年度中に本部会の非基金化資産を基金化することが第 2 回臨時幹事会で承認されたため、以下の基金化手続きを行った。

(ア)MMPE2025 開催費用の一部（2025 年度開催時に使用）	291.9 万円
(イ)部会ホームページ制作費（2023 年度初期費用）	30 万円

#### 3. 粒子・流体プロセス部会 分科会運営細則(第 8 条、第 9 条)の改正案

2022 年 9 月 20 日開催の第 1 回定例幹事会において分科会運営細則の見直しが検討された。粒子・流体プロセス部会規約第 18 条により、運営細則の改正については 2023 年 3 月の第 2 回定例幹事会で承認後、2022 年度年会総会で承認され、改正を行いたい。

表 1 分科会運営細則の現状と改正案

分科会運営細則（現状）(抜粋)	分科会運営細則 改正案（赤字部分）
第 8 条 分科会活動は部会からの分科会分配金と分科会が企画する事業の収入などによって行う。	同左
2. 分科会は部会事務局より部会費（本部からの部会交付金および部会事務局が徴収する部会会員の会費）の 25% を差し引いた残額をさらに分科会員の数で按分した額を分科会分配金として支給される。	2. 分科会分配金は、部会費（本部で控除された手取り部会交付金）から部会事務局費を差し引いた残額を、各分科会会員数による按分額として支給される。
3. 会員が複数の分科会に参加を希望した場合	3. 会員（部会特別会員 A、B、法人特別会員

は、参加する分科会に会費を按分する。	を除く)が複数の分科会に参加を希望した場合は、参加する分科会に会費を按分する。
4. 新規分科会は、立ち上げ後3年間、その分科会が負担すべき部会運営費の免除を受けることができる。	削除
5. 分科会決算が欠損を出した場合、分科会は借用願及び返済計画を幹事会に提出し、その議を経て、部会会計より借り入れを行うことができる。ただし、借り入れが二期以上にわたる場合、当該問題の処置は総会の議を経て行う。	項番号繰り上げ
第9条 分科会はその個別事業の収益の10%を、各事業の終了時に、部会事務局に納める。	削除
2. 部会事務局はそれをプールし、化学工学会本部への上納金に当てる。	削除
3. プール金と本部上納金の差額は、部会全体の活性化を念頭に入れて、部会幹事会で検討の上、部会会計に繰り込む。	削除
(付則)第11条 本細則は2003年3月23日より施行する。	条番号繰り上げ 本細則は2023年3月23日より施行する
2. 分科会が行う行事の収益から部会運営のために上納する金額の割合(10%)については、部会発足の2年後に見直すこととする。	削除

分科会運営細則と実態との間には下記の乖離が発生してはいますが、幹事会の合意として運用していません。

- ① 本部は部会交付金から「HP サーバー使用料と部会負担金」が自動的に天引き
- ② 部会事務局は部会費から「部会共通経費」と「控除済みの部会費の25%」を部会事務局配分としている。
- ③ 部会に納められた黒字分科会の収益の10%の用途を、本部に上納金に限定すると事務が煩雑になり、これまでの運用でも分離されていない(2020年度第二回幹事会で一度、規約改正が合意されたが、承認に至っていない)。
- ④ 上納金割合について部会発足以降見直されていません。

そこで運用実態と細則との乖離を是正するために、分科会運営細則の改定を提案します。主な改定は下記の通りです。

(ア) 部会費を「本部で控除<sup>※</sup>された手取り部会交付金」と定義する。

※ 本部の控除の内訳は

① 本部の部会負担金（前年度の部会黒字収益 10%）

② 部会 HP サーバ利用料

(イ) 部会事務局費を「部会費の 25%」を廃止し、各年度の幹事会で内容を承認された固定額として計上し、部会費から控除する。

(ウ) “部会特別会員 A、B、法人特別会員“の会費徴収・経理・管理は、主たる所属分科会で行うことが本年度臨時幹事会で承認されています。

4. 関東支部との共催企画「最近の化学工学講習会 7 2」の共催と収益の按分について  
関東支部との共催企画「最近の化学工学講習会 7 2」の共催についてご承認ください。

按分についての原案は、関東支部：部会 = 6 : 4 です。



2023年3月10日

令和4年度化学工学会関東支部第6回幹事会資料

第一企画委員 本間俊司

化学工学会関東支部「最近の化学工学 72」のテキスト出版および講習会開催について  
企画書 (1次案)

1) 企画およびテキストタイトル

案1：化学工学における流体シミュレーション

案2：化学工学系流体シミュレーションの最前線

副題案1：2030年に向けた化学工学系流体シミュレーション (化工誌特集)

副題案2：基礎・実践・将来展望

2) 運営の体制

主催：化学工学会 関東支部

共催：化学工学会 粒子・流体プロセス部会

協賛(案)：化学工学会(熱工学部会、分離プロセス部会、反応工学部会、システム・情報・シミュレーション部会、超臨界流体部会、エネルギー部会、材料・界面部会、環境部会)、日本機械学会、日本流体力学会、日本混相流学会、石油学会、分離技術会、応用物理学会、日本伝熱学会、日本エネルギー学会、可視化情報学会、日本計算工学会、日本原子力学会、日本画像学会、日本燃焼学会、日本液体微粒化学会、日本化学会、エネルギー・資源学会、粉体工学会、日本粉体工業技術協会、ファインバブル学会連合、ファインバブル産業界、日本鉄鋼協会、日本金属学会、資源・素材学会、日本食品工学会、プラスチック成形加工学会、繊維学会(その他、随時追加)

3) オーガナイザー

徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 機械科学系 教授 太田光浩 氏

住友化学(株) 生産安全基盤センター 数値計算工学統括 島田直樹 氏

4) テキスト目次/講師・執筆者(案・敬称略)

【基礎編】

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 1. 混相流シミュレーション(打診中)     | 神戸大学/林 公祐   |
| 2. 乱流シミュレーション(打診中)      | 岡山大学/関本 敦   |
| 3. メソスケールシミュレーション(内諾)   | 大阪公立大学/大森健史 |
| 4. ソフトマターシミュレーション(内諾)   | 京都大学/佐藤 健   |
| 5. 反応流・燃焼のシミュレーション(打診中) | 弘前大学/松下洋介   |

【応用編】

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 6. 製剤(粉体)のシミュレーション(内諾)     | 大阪公立大学/大崎修司 |
| 7. 食品(ソフトマター)のシミュレーション(内諾) | 大阪公立大学/増田勇人 |

【ソフトウェア編】

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 8. ANSYS(内諾)     | サイバネットシステム/中嶋 進     |
| 9. STAR-CCM+(内諾) | Siemens/棚木航介        |
| 10. COMSOL(内諾)   | 計測エンジニアリングシステム/福川 真 |
| 11. iGRAF(内諾)    | 構造計画研究所/(講師選定中)     |
| 12. OpenFOAM(内諾) | 東北大学/山本卓也           |

【実践編】

- |              |       |
|--------------|-------|
| 13. 住友化学(内諾) | 八重樫優太 |
|--------------|-------|

14. 出光興産(内諾)
15. 三菱ケミカル(内諾)
16. ダイセル (内諾)
17. 佐竹マルチミクス (内諾)

坂倉 圭  
石羽 恭  
山田 剛  
金子 晃

参考：関東支部幹事からの要望（2022/11/18@幹事会）  
産側における流体シミュレーションの適用事例の紹介、OpenFOAMの紹介、  
最適化などの他のシミュレーションソフトとの統合的利用の紹介

5) テキスト分量および著作権

150～250ページ程度 (B5判 カラー印刷：三恵社)

1節(1担当あたり)のページ数：刷り上がり10ページ前後を想定

著作権は化学工学会に帰属、執筆者にはページ数に応じた原稿料を支払う  
ソフトウェア編および実践編に参加する企業から広告を募る 5万円/頁

6) 講習会

日時：2024年1月～2月のうち二日(連続でなくても可)

場所：オンライン ハイブリッドも視野

7) 収益の按分

関東支部：粒子・流体プロセス部会 = **6:4** (協議事項)

8) 集客の対象となる企業

一般化学、プラント、エネルギー、その他関連企業をはじめとして流体シミュレーションに興味のある企業

9) 今後のスケジュール：

- ✓ 2022年12月 関東支部運営会議にて0次案提出
- ✓ 2023年1月～2月 テキスト執筆者および講師の選定
- ✓ 3月上旬 執筆者に内諾をとり教科書目次案確定
- ✓ 3月中旬 粒子・流体プロセス部会総会(第88年会)にて、教科書目次案を元に企画の承認
- ✓ 4月下旬 関東支部運営会議にて企画(教科書刊行)の承認
- ✓ 5月上旬 執筆依頼送付
- ✓ 6月中旬 関東支部幹事会にて講習会プログラム一次案提出
- ✓ 8月下旬 関東支部運営会議にて企画(講習会)の承認
- ✓ 9月中旬 テキスト原稿締め
- ✓ 9月中旬 講習会チラシ完成、秋季大会で配布 募集開始
- ✓ 9月下旬 会告原稿入稿(11号掲載)
- ✓ 10月～11月 関東支部幹事によるテキスト査読
- ✓ 10月初旬 関東支部事務局より講演依頼
- ✓ 12月末 テキスト刊行
- ✓ 2024年1月初旬 配布資料完成(スライドデータ)
- ✓ 1月～2月 講習会開

以上